

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市立病院施設改修事業	会計	病院事業	事業No.	611	施策順No.	32-008
		事業種別	政策・重点	予算科目	1-1-4--		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			施設課		
施策	32 医療の充実	事業期間	開始	20	終了	25	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	二次医療圏の住民及びその他の飯田市立病院利用者					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない					
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)										
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度						
		飯田市及び下伊那郡の住民(人口)										
意図	患者が医療を受ける環境を改善し、その他利用者を含めたアメニティを向上させる											
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	患者満足度調査 外来患者満足度						90.9	93.1	93	92.4	95	B
	患者満足度調査 入院患者満足度						92.7	93.1	94	94.4	95	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	外来患者満足度が21年度実績より減少しているのは、施設面では特に駐車場の満足度が低下したことが影響していると考えられる 入院患者満足度が21年度実績より増加しているのは、施設面では院内の清潔度評価が向上したことが貢献していると考えられる											

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	[主な整備内容]		
	1 救命救急センターの移設拡充 救急外来・救急病棟・救急ICUを集約 2 地域周産期母子医療センターの移設拡充 分娩・新生児治療・病棟等の各部門の拡充と機能的な配置 3 がん診療連携拠点病院としての機能充実 外来化学療法室を移設拡充し、緩和ケア部門・麻酔科を含め一体的に配置 4 サービス部門の充実 食堂・売店等のサービス部門の拡充などによるアメニティの充実 5 職員の増加に対応する施設整備 講義室・事務室・更衣室・休憩室等の拡充 その他		
22年度事業内容	事業内容	名称	活動量・単位
	1 増築及び既存施設改修の基本設計 決算額 19,950千円 2 同上 実施設計 予算額 80,000千円(23年度へ繰越)	1 基本設計 2 実施設計	1 1式 2 1式
23年度実施計画	1 実施設計(前年度からの継続) 予算額 80,000千円(22年度からの繰越) 2 増築・改修工事(23年度～25年度) 工事費総額 2,500,000千円(23年度 1,200,000千円)	1 実施設計 2 増築・改修工事	1 1式 2 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金 県支出金 起債 その他 一般財源					
	計(A)		103,000	19,950	1,200,000	21→22 繰越明許費 23,000千円 22→23 繰越明許費 80,000千円 ・県支出金:地域医療再生基金交付金 ・起債:病院事業債 充当率100% ・一般財源:一般会計からの出資金
	正規職員所要時間			1,000		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			3,576		
	トータルコスト A+B			23,526		

4 事業に対する市民や議会の意見

- ・H19第1回市議会定例会の代表質問において、救命救急センターやがん拠点病院としての課題が取り上げられ、関連質問では、その費用の広域負担について言及された。
- ・同第2回定例会一般質問において、産科・救急医療に関連して施設面の改修の必要性に触れられた。
- ・H20基本構想基本計画推進委員会の提言では、高度医療、救急医療の機能を充実が求められている。
- ・H21市議会の提言では、地域中核病院としての施設の充実が求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	必要な医療が受けられる	施策の成果指標又はムツ指標	必要な医療が受けられていると感じる市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・本事業は事業完了後において目的達成に貢献するものである。		
	後期に向けた課題	・市立病院の病床が不足している中で、早期完成により救急患者等の受入体制を整えること。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・21年度から整備計画に周産期医療部門の移設拡充を加え、より安心・安全な出産の受け入れ態勢を整えることとした。		
	後期に向けた課題	・新施設を有効に活用するため、医師を始めとした職員体制の充実を図ること。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・建設及び維持管理に要するコストを極力削減するよう検討を進めてきた。 ・医療機器、その他備品類も使えるものは使うという方針で調整している。 ・県の地域医療再生計画による交付金の確保に努めた。		
	後期に向けた課題	・内部仕様についても、過剰・過美とならないよう、用途に応じた整備を行うこと。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・市の一般会計の負担は、繰り出し基準の範囲内を原則としている。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	市立病院が今後も地域中核病院としての役割を果たすため、特に「救急医療」「周産期医療」「がん医療」を整備の重点とし、これまで課題となっていた部門や、医療技術の進展への対応なども含め、診療機能の充実を図るよう計画を進めてきた。		
	後期に向けた課題	事業費の抑制 事業に対する震災の影響把握 早期事業完了に向けた対応		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------